

2019年 歯科医院 経営実績報告

CONTENTS

I 2019年 歯科医院経営データ分析

1. データ分析概要
2. 業績総括
3. 医業収入分析
4. 医業費用 対前年増減比較

II 2019年 収入上位歯科医院の経営実態

1. データ分析概要
2. 収入上位歯科医院実績総括
3. 医業収入 収入上位歯科医院分析
4. 医業費用 収入上位歯科医院分析

III 2019年 医療法人経営指標分析結果

1. データ分析概要
2. 収益性分析
3. 生産性分析
4. 安全性分析
5. 成長性分析

I 2019年 歯科医院経営データ分析

1 データ分析概要

下表は歯科医院 332 件を分析母体とし、2019 年の決算データを集計したもので、医業収入、医業費用等の一法人当たりの平均数値を集計し前年比較を行っています。

■2019年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
I 医業収入	58,211	59,500	102.2%
1.保険診療収入	46,801	47,809	102.2%
2.自由診療収入	11,106	11,202	100.9%
3.その他の医業収入	304	489	160.9%
II 変動費	11,247	11,637	103.5%
1.医薬・歯科材料費	5,321	5,568	104.6%
2.外注技工料	5,926	6,069	102.4%
III 限界利益	46,964	47,863	101.9%
IV 医業費用	28,365	28,354	100.0%
1.人件費	9,036	9,331	103.3%
2.減価償却費	4,555	4,496	98.7%
3.接待交際費	852	858	100.7%
4.研究研修費	390	393	100.8%
5.保険料	836	841	100.6%
6.消耗器具備品費	979	987	100.8%
7.その他経費	11,717	11,448	97.7%
V 医業利益	18,599	19,509	104.9%

2 業績総括

2019年における歯科医院の経営実績は、2018年と比較して増収増益となりました。過去の本調査データでは、2012年から増加に転じており8期連続での増加となっています。保険診療収入は2.2%増、自由診療収入は0.9%増加しています。

■利益の状況

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
限界利益	46,964	47,863	101.9%
医業利益	18,599	19,509	104.9%

● 医業収入

医業収入は59,500千円で、1,289千円（対前年比2.2%）の増加となっています。内訳としては、保険診療収入が1,008千円（同2.2%）、自由診療収入が96千円（同0.9%）、その他医業収入が185千円（同60.9%）の増加となりました。

● 変動費

変動費（医薬・歯科材料費・外注技工料等）は11,637千円で、390千円（対前年比3.5%）の増加となっています。

● その他医業費用

その他医業費用は28,354千円で、11千円とわずかな減少となっています。減価償却費（同1.3%）が減少し、接待交際費（同0.7%）人件費（同3.3%）研究研修費（同0.8%）、保険料（同0.6%）、消耗器具備品費（同0.8%）は増加し、その他経費（同2.3%）は減少しています。

● 医業利益

医業利益は19,509千円で、910千円（対前年比4.9%）の増加となっています。

3 医業収入分析

(1) 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
医業収入合計	58,211	59,500	102.2%
保険診療収入	46,801	47,809	102.2%
自由診療収入	11,106	11,202	100.9%
その他医業収入	304	489	160.9%

(2) 医業収入分析

● 医業収入

医業収入は59,500千円で、1,289千円の増加となりました。内訳として、保険診療収入は1,008千円（対前年比2.2%）、自由診療収入は96千円（同0.9%）の増加となりました。

● 総収入に占める自由診療収入の割合

2019年は18.8%、2018年では19.1%となっており、0.3%の減少となりました。

4 医業費用 対前年増減比較

(1) 医業費用対前年比較

① 変動費(歯科材料費・外注技工料)

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
変動費合計	11,247	11,637	103.5%
変動費率	19.3%	19.6%	—
医薬・歯科材料費	5,321	5,568	104.6%
外注技工料	5,926	6,069	102.4%

②人件費、役員報酬・専従者給与

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
人件費合計	9,036	9,331	103.3%
役員報酬・専従者給与	12,230	13,130	107.4%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
その他医業費用合計	19,329	19,023	98.4%
減価償却費	4,555	4,496	98.7%
接待交際費	852	858	100.7%
研究研修費	390	393	100.8%
保険料	836	841	100.6%
消耗器具備品費	979	987	100.8%
その他経費	11,717	11,448	97.7%

(2) 医業費用分析

●変動費

変動費は 11,637 千円で、390 千円増加しています。

医薬・歯科材料費は 247 千円、外注技工料は 143 千円増加しています。

●人件費

人件費は 9,331 千円で、295 千円の増加となりました。

●その他医業費用

その他医業費用は 19,023 千円で、306 千円の減少となりました。減価償却費が 59 千円減少しているため、実質的な経費は 247 千円減少しています。

Ⅱ 2019年 収入上位歯科医院の経営実態

1 データ分析概要

下表は、歯科医院332件を分析母体とし2019年の決算データのうち、医業収入上位20%（67件）を抽出し、収入上位歯科医院として経営データを集計したものです。

■2019年 収入上位歯科医院比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2018年	2019年	前年対比
I 医業収入	121,448	124,330	102.4%
1.保険診療収入	87,573	90,937	103.8%
2.自由診療収入	33,188	32,789	98.8%
3.その他の医業収入	687	604	87.9%
II 変動費	23,794	24,550	103.2%
1.医薬・歯科材料費	11,778	12,260	104.1%
2.外注技工料	12,016	12,290	102.3%
III 限界利益	97,654	99,780	102.2%
IV 医業費用	63,683	66,509	104.4%
1.人件費	28,118	28,845	102.6%
2.減価償却費	7,960	8,988	112.9%
3.接待交際費	1,659	1,665	100.4%
4.研究研修費	928	923	99.5%
5.保険料	2,565	2,554	99.6%
6.消耗器具備品費	2,197	2,315	105.4%
7.その他経費	20,256	21,219	104.8%
V 医業利益	33,971	33,271	97.9%

2 収入上位歯科医院実績総括

2019年歯科診療所全体の経営実績は、収入上位診療所では増収減益となりました。保険診療収入は増加し、自由診療収入は減少しています。

■利益の状況

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
限界利益	97,654	99,780	102.2%
医業利益	33,971	33,271	97.9%

● 医業収入

医業収入は124,330千円で、2,882千円（対前年比2.4%）の増加となっています。

内訳をみると、保険診療収入が3,364千円（同3.8%）の増加、自由診療収入は399千円（同1.2%）の減少、その他医業収入83千円（同12.1%）の減少となりました。

● 変動費

変動費（医薬歯科材料費・外注技工料等）は24,550千円で、756千円（対前年比3.2%）の増加となりました。

● 医業費用

変動費外医業費用は66,509千円で、2,826千円（対前年比4.4%）の増加となりました。

減価償却費、接待交際費、研究研修費、保険料、消耗器具備品、その他経費が増加し、研究研修費、保険料が減少しています。

● 医業利益

医業利益は33,271千円で、700千円（対前年比2.1%）の減少となりました。

3 医業収入 収入上位歯科医院分析

(1) 収入上位歯科医院 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
医業収入合計	121,448	124,330	102.4%
保険診療収入	87,573	90,937	103.8%
自由診療収入	33,188	32,789	98.8%
その他医業収入	687	604	87.9%

(2) 医業収入分析 収入上位歯科医院 (医業収入上位 20%)

● 医業収入

医業収入は 124,330 千円で、2,882 千円（対前年比 2.4%）の増加となりました。
保険診療収入が 3,364 千円（同 3.8%）増加し、自由診療収入が 399 千円（同 1.2%）、
その他医業収入が 83 千円（同 12.1%）それぞれ減少しています。

4 医業費用 収入上位歯科医院分析

(1) 収入上位歯科医院 医業費用対前年比較

① 変動費(歯科材料費・外注技工料)

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
変動費合計	23,794	24,550	103.2%
変動比率	19.6%	19.7%	0.1%
医薬・歯科材料費	11,778	12,260	104.1%
外注技工料	12,016	12,290	102.3%

②人件費・役員報酬・専従者給与

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
人件費	28,118	28,845	102.6%
役員報酬・専従者給与	22,389	22,218	99.2%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2018年	2019年	前年対比
その他医業費用合計	35,565	37,664	105.9%
減価償却費	7,960	8,988	112.9%
接待交際費	1,659	1,665	100.4%
研究研修費	928	923	99.5%
保険料	2,565	2,554	99.6%
消耗器具備品費	2,197	2,315	105.4%
その他経費	20,256	21,219	104.8%

(2) 医業費用分析 収入上位歯科医院 (医業収入上位 20%)

●変動費

変動費は 24,550 千円で、756 千円 (対前年比 3.2%) の増加となっています。

●人件費

人件費は 28,845 千円で、727 千円 (対前年比 2.6%) の増加となっています (計上した人件費は役員報酬を差し引いて再計算)。

●その他医業費用

その他医業費用は 37,664 千円で、2,099 千円 (対前年比 5.9%) の増加となっています。

Ⅲ 2019年 医療法人経営指標分析結果

1 データ分析概要

下表は、医療法人歯科医院 81 件の貸借対照表の数値から経営指標を算出し、収益性、生産性、安全性、成長性の4つの視点で分析を行いました。

前章までの分析は、医療法人・個人開設のデータを合算しましたが、経営指標分析においては医療法人歯科医院を対象としています。

■2019年 比較貸借対照表 医療法人

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	2018年	2019年		2018年	2019年
【流動資産】	35,649	37,082	【流動負債】	12,805	13,146
現金・預金	18,455	19,157	買掛金	1,502	1,601
医業未収金	10,408	10,418	その他	11,303	11,545
その他	6,786	7,507			
【固定資産】	37,000	37,922	【固定負債】	25,168	24,887
《有形固定資産》	21,854	21,602	長期借入金	19,047	17,494
《無形固定資産》	5,784	6,099	その他	6,121	7,393
《その他の資産》	9,362	10,221			
			負債合計	37,973	38,033
			純資産の部		
				2018年	2019年
			【出資金】	7,896	7,898
			【利益剰余金等】	26,780	29,073
			純資産合計	34,676	36,971
資産合計	72,649	75,004	負債・純資産合計	72,649	75,004

2 収益性分析

		2018年	2019年	差異
収益性	総資本経常利益率	5.7%	6.2%	0.5%
	医業収入医業利益率	4.8%	4.8%	0.0%
	医業収入経常利益率	4.5%	4.8%	0.3%
	総資本回転率	1.3回	1.2回	▲0.1回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益÷総資本×100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益÷売上高×100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益÷医業収入×100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入÷総資本

3 生産性分析

		2018年	2019年	差異
生産性	限界利益率	80.3%	79.9%	▲0.4%
	1人当たり医業収入/月	763千円	766千円	3千円
	1人当たり限界利益/月	613千円	612千円	▲1千円
	1人当たり人件費/月	355千円	346千円	▲9千円
	労働分配率	57.9%	56.5%	▲1.4%

歯科経営

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率です。	限界利益 ÷ 医業収入 × 100（%）
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	（医業収入 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	（限界利益 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料などの企業負担も含めたもの）を見る指標です。	（総額人件費 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100（%）

■生産性分析コメント

●限界利益率

2019年は79.9%で、対前年比0.4%減少しました。

●一人当たり医業収入

2019年は766千円で、対前年比3千円増加しました。

●一人当たり限界利益

2019年は612千円で、対前年比1千円減少しました。

●一人当たり人件費

2019年は346千円で、対前年比9千円減少しました。

●労働分配率

2019年は56.5%で、対前年比1.4%減少しました。

4 安全性分析

		2018年	2019年	差異
安全性	流動比率	278.4%	282.1%	3.7%
	当座比率	225.4%	225.0%	▲0.4%
	固定比率	106.7%	102.6%	▲4.1%
	固定長期適合率	61.8%	61.3%	▲0.5%
	自己資本率	47.7%	49.3%	1.6%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 (\%)$
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	$\text{当座資産} \div \text{流動負債} \times 100 (\%)$
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	$\text{固定資産} \div \text{自己資本} \times 100 (\%)$
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	$\text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{固定負債}) \times 100 (\%)$
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る指標です。	$\text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 (\%)$

■安全性分析コメント

- 2019年の指標では、流動比率は282.1%となっており、短期的な債務返済能力は高い水準にあり、また換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。
自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全と評価できます。

5 成長性分析

		2018年	2019年
成長性	医業収入増加率	1.6%	0.3%
	限界利益増加率	1.8%	▲0.2%
	医業利益増加率	9.8%	2.1%
	経常利益増加率	4.8%	12.5%

■成長性分析コメント

- 2019年の経営実績は、医業収入・医業利益・経常利益が増加し、限界利益が減少する結果となり、このうち医業収入が0.3%、経常利益が12.5%増加しました。2019年秋には消費税がアップしたにも関わらず、医業収入の増加とともに歯科診療所のコスト削減により取り組んだ結果によるものと推測できます。